

**12月議会  
最終日**

## 大型開発ではなく 県民の願い届く県政に

**下奥議員  
反対討論**

下奥議員が6つの点について反対討論を行いました。

「航空ミュージアム」については、展示の仕方において、県の姿勢は「負の歴史や反省、平和利用へのメッセージの伝え方に及び腰」と指摘しました。

愛知県国際展示場は、何百億という県民の税金を使う無駄な大型開発です。また、展示場を理由に中部国際空港二本目滑走路も推進され、さらに、国際展示場がカジノを含む「統合型リゾート施設」を誘致するために利用される恐れがあることがわかりました。「若者を含め多くの人を不幸に陥れるカジノを『実現可能性を研究・検討する』という県の歪んだ姿勢を厳しく批判しました。

こうした大型開発推進の裏に、県民の教育・福祉の切り捨てがあります。

放課後子ども教室と、放課後児童クラブ(いわゆる「学童」)はどちらも子ども達にとっては必要



壇上で反対討論を行う下奥議員

な制度ではありますが、全く性質の異なるものです。放課後子ども教室は、人数が多く、日によって違う子供たちが集まることで事故が増える心配があることを指摘しました。

国保の県単位化が進むもとは、保険料の引上げや、保険料徴収が一層強化されることが懸念されます。県民いじめ、市町村の締め付けにつながる恐れがあり、下奥議員は「わが党は『今からでも引き返せる』を基本にしている」と反対しました。

国際展示場の整備事業者契約については、価格評価を実質的に排除。4社ともほぼ予定価格(316億)の入札で、異常な落札となり、認められません。

奨学金返済滞納者への訴えの提起について、下奥議員は「憲法26条で定めている『教育の機会均等』を保障する制度に改善するべき」とし、給付制奨学金制度や、高校の授業料無償化こそ求められていることを述べました。

件名	内容	会派の態度				結果
		共	自	民	公	
平成28年度愛知県一般会計補正予算 207億815万円増  (債務負担行為) 愛知航空ミュージアム展示物製作 (債務負担行為) 運転免許試験場整備等事業契約	児童養護施設の防犯対策強化					
	オレンジタウン構想調査					
	産地パワーアップ事業					
	土地改良事業、次世代林業基盤づくり事業					
	道路・橋りょう整備交付金事業	●	○	○	○	可決
	港湾整備交付金事業					
	県営住宅建設事業・改善事業					
	学童クラブと子ども教室の一体化推進					
9億円、航空機を体験学習できる展示コンテンツの整備						
91億円、PFI方式で運転免許試験場の整備						
愛知県国際展示場条例の制定	6万㎡の巨大展示場の利用料金や管理運営方法(コンセッション方式)を決める	●	○	○	○	可決
愛知県国民健康保険運営協議会条例の制定	市町村国保から広域の県国保になり、統一化されて管理が強化される。県国保の運営方針や市町村の納付金、標準保険料などを審議する協議会を設置する	●	○	○	○	可決
職員の懲戒の方法及び効果等に関する条例等の一部改正	非常勤職員について、特別職から一般職に切り替え、超勤手当や通勤手当を支給できるようにする	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例等の一部改正	人事委員会の勧告をもとに、本俸、地域手当、期末手当等改正	○	○	○	○	可決
愛知県都市公園条例の一部改正	春日井市にある朝宮公園を市に移譲。市の計画が不十分	●	○	○	○	可決
工事請負契約の締結(愛知県大規模展示場建設工事)	340億円の巨額入札。価格評価を実質入らない加算方法のため、4社の入札額はほぼ予定価格と同額。落札率は99.9%	●	○	○	○	可決
訴えの提起(奨学金貸付金返還請求事件)	貸付後6年目の未返還者に、画一的な方法で行われている	●	○	○	○	可決
権利の放棄	行革などにより繁忙なため、看護修学貸付金の督促を放置、時効などで4億円の請求権を放棄する。	○	○	○	○	可決

●=反対 ○=賛成 ×=棄権

共：日本共産党 自：自民党 民：民進党 公：公明党